

令和4年度事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

公益財団法人 井上育英会

I. 事業の状況

1. 奨学生の選考・奨学金の貸与

(1) 大学別・年次別 学生数・奨学金貸与額 (令和5年3月31日現在)

大 学	採用	年次別学生数(人)						奨学金貸与額(円)		
		6年	5年	4年	3年	2年	計	月 額	留学等対応	年間貸与総額
北 海 道大学	2	2	3	6	2	2	15	414,000	△198,000	4,770,000
東 北大学	3	2		3	5	2	12	352,000	△80,000	4,144,000
東 京大学	1			2	3	1	6	200,000		2,400,000
東京工業大学				1			1	0		0
一 橋大学							0	0		0
名 古 屋大学	1					1	1	30,000		360,000
京 都大学					1		1	35,000		420,000
大 阪大学	1			1	1		2	70,000		840,000
九 州大学	2				1	2	3	86,000		1,032,000
合 計	10	4	3	13	13	8	41	1,187,000	△278,000	13,966,000

(2) 奨学金貸与月額	自宅	自宅外
東京・近畿	30,000円	35,000円
その他の地域	28,000円	30,000円

(3) 留学等対応

〈留学対応〉

令和4年度分前渡済み	1名	△30,000円 (期中帰国 貸与再開)
平成5年度分前渡	1名	84,000円

〈休学〉

令和4年度分貸与休止	4名	△336,000円
------------	----	-----------

〈その他〉

月額変更	1名	4,000円 (自宅28,000円 → 自宅外30,000円)
------	----	---------------------------------

2. 奨学生に対する勉学、進路等の指導・助言

(1) 月例会等

新型コロナウイルス禍ではあったが、万全な対策等の下で在京学生に対して、毎月第一水曜日奨学金支給時に学生委員を中心とするOBが夕食を共にし、懇談と指導を行った。各支部でも毎月奨学金支給時に懇談会が行われ、いずれも奨学生の相談が相次ぎ進路等について適確なアドバイスを与えた。

また季節の例会として、初秋例会(9月16日)は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、

秋季例会・全国奨学生交流会(11月12・13日・仙台)、新年例会(1月20日)を開催。いずれも学生とOB会員ら数十人が集い、講演と懇談で啓発の実をあげた。支部においても、北海道(12月)、九州(12月)で行われた。

(2) 卒業祝賀行事

新型コロナウイルス感染拡大のために中止となった3回の卒業祝賀会に替えて、令和2年・3年・4年合同の卒業生激励会が9月10日にアルカディア市ヶ谷で行われ、役員や支部代表の先生方から激励の言葉が贈られた。

3月3日の祝賀前夜祭は、全国の卒業生と新奨学生に加えそれ以外の奨学生も参加、OB含め73人が老舗伊勢重のすきやきを囲んで懇談。学生の自己紹介とOBの激励が続いた。

翌4日の祝賀会はアルカディア市ヶ谷で行われ、役員や支部代表の先生方から卒業生らにはなむけの言葉が贈られた。

また同日、卒業生以外の全国の奨学生が参加し交流会が行われた。昼は、ほとバス「東京湾クルーズ」や「東京スカイツリーと浅草散策」、「横浜中華街・横浜湾ミニクルーズ」、学生企画「東京おしゃれスポット」など5コースに分かれ観光、夜にはOBも加わり懇親会を行い、他支部の奨学生との交流を深めた。卒業生を送る会は北海道・東北など支部ごとにも行われた。

(3) 新奨学生歓迎行事

首都圏在住の新奨学生を歓迎するバス旅行が7月2・3の両日に行われた。新奨学生と先輩の学生・院生・OBらが参加、茨城・日立製作所の日立オリジンパーク、日鉱記念館、大洗水族館、鹿島神宮・香取神宮や水郷佐原を訪ねる旅を楽しんだ。北海道・東北の各支部でも歓迎会等が行われた。

(4) 会誌の発行等

会誌「新桜菱」第261号(R4.5) 第262号(R4.9) 第263号(R4.12) 第264号(R5.2)を発行した。

3. 育英資金の募金

本年度は延べ159人の方から応募があり、募金総額は2,167,000円であった。

II. 附属明細書

事業における重要な事項は令和4年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。